

# 令和2年度 環境保全活動報告書



**KSK 湖国精工株式会社**

<http://www.kokokuseiko.co.jp>

## 環境保全の歩みと取組み

### (環境方針)

1. 地球環境にやさしい事業活動をする
2. 全従業員が力を合わせて、環境に配慮し、人と地球の共生をはかる
3. 環境関連法規制を遵守する
4. 環境マネジメントシステムの継続的改善に努める
5. 環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努める

## 環境保全の歩みと取組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

### (目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負荷の少ない持続可能な街づくりに、自主的・主体的に行動するとともに協働して取組むことが求められている。

### (活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

### (環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネジメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

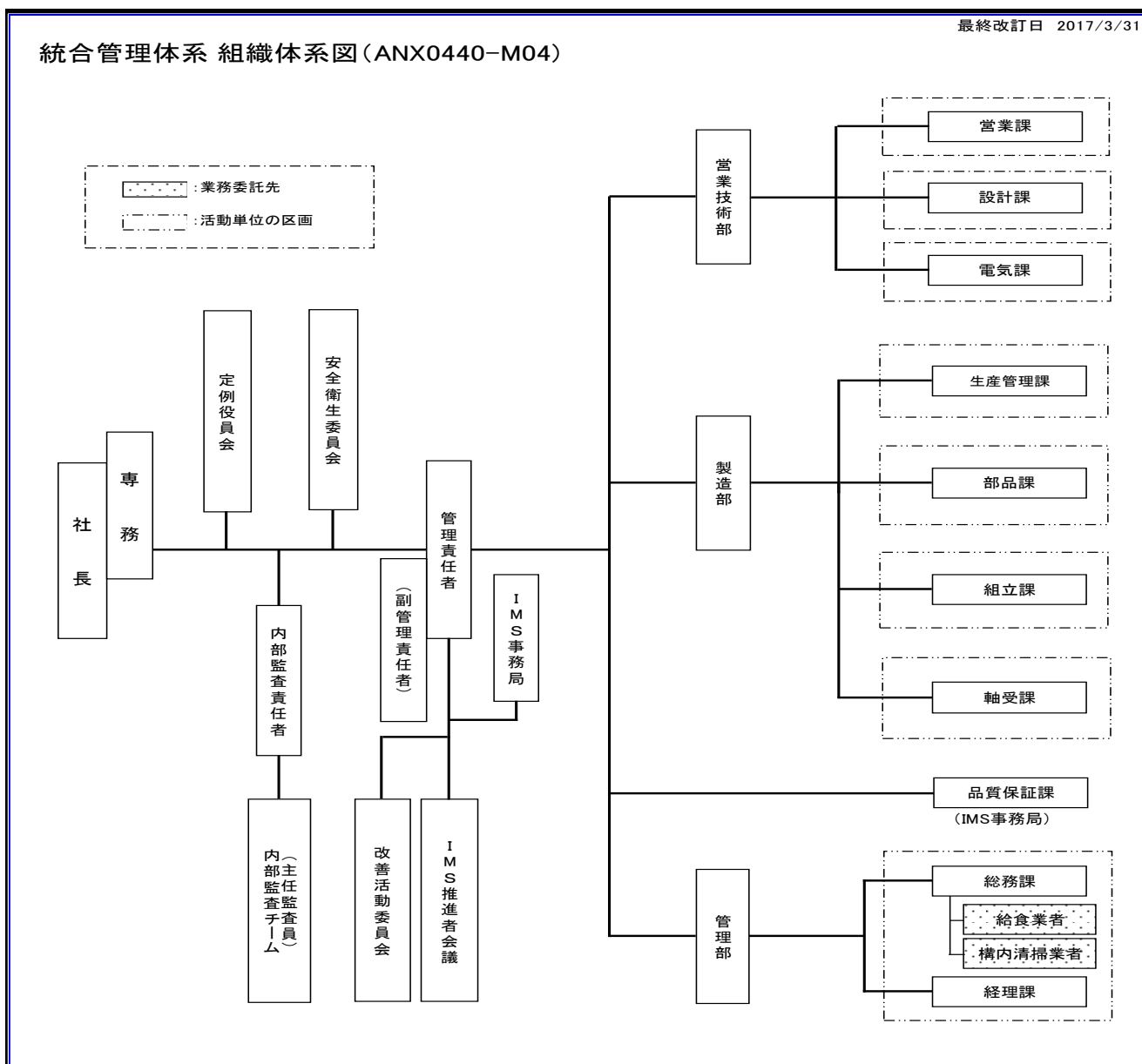
### (報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回、市に報告する。昨年に引き続き、令和2年度の報告を致します。

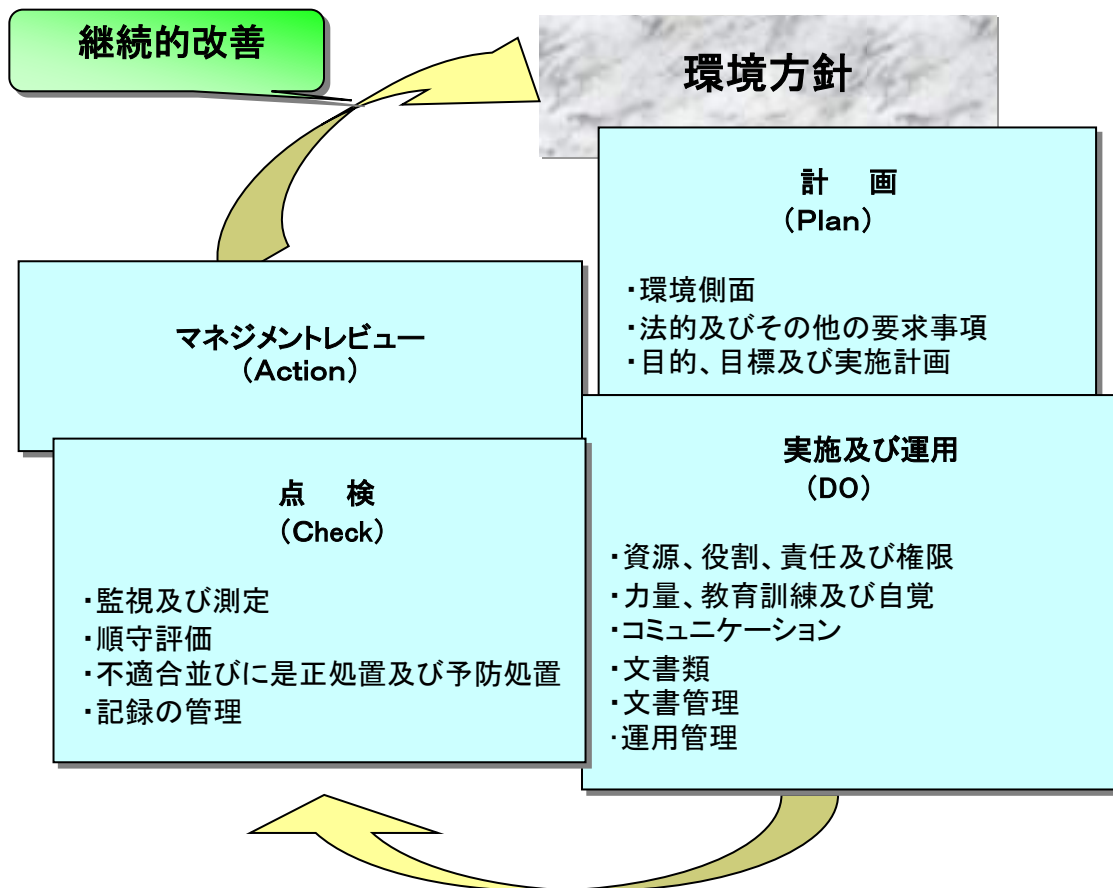
## 主な環境取組テーマ

- ① 地球温暖化の防止
- ② 廃棄物の削減
- ③ 琵琶湖の汚染防止
- ④ 環境に関する地域社会への貢献
- ⑤ その他の取組み

## 環境管理組織体系図



～P・D・C・Aサイクルによる、継続的改善の管理システム～



- P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。
- 汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行なう。
- 環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行うために環境影響の原因である環境側面を抽出し、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。
- 環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。
- あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行なわれ、トップの方針に基づき、全員参加で環境負荷を低減するシステムである。

## 環境目的・目標 実施計画

品質・環境方針	著しい環境側面	監視項目及び管理項目			
		項目名	監視 ： △ ○	単位	
地球温暖化の防止	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">資源の使用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">エネルギーの使用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">電力の使用 ガスの使用 水の使用 油類の使用 等</div> </div>	二酸化炭素排出量	○	総排出量(t-CO2/年)	
			○	原単位使用量(kg-CO2/総工数)	
		電力量	△	総使用量(kWh/年)	
			△	原単位使用量(kWh/総工数)	
		省エネ加工設備への転換	△	年間設備更新台数 (設備投資計画に基づく)	
		LED化推進		年間転換率(LED/総本数)	
廃棄物の削減		ゼロエミ化推進	○	ゼロエミ度(%)	産廃 一般
琵琶湖の汚染防止		流出事故の防止維持	○	発生件数(件)	
環境に関する地域社会への貢献		盛越川の清掃	△	計画に基づき実施	
法令等要求事項の順守	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">特定化学物質の管理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">危険物の管理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">騒音の発生</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">振動の発生</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">悪臭の発生</div> </div>	塗装工程廃止と活用	△	労働安全衛生法 (特定化学物質障害予防規則)	
		粉塵加工設備の見直し	△	労働安全衛生法 (特定化学物質障害予防規則)	
		危険物の管理	○	消防法 (大津市火災予防条例)	
		騒音の発生	○	騒音規正法(隣地境界)	
		振動の発生	○	振動規正法(隣地境界)	
		悪臭の発生	○	悪臭防止法(隣地境界)	

前年度に比べ会社始まって以来、リーマンショック以上の大幅受注減。

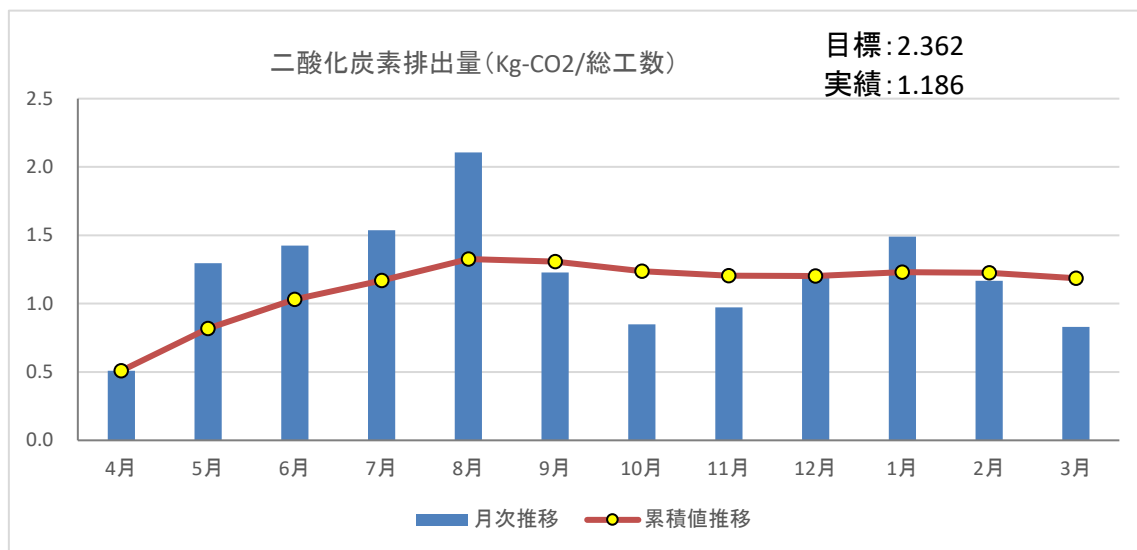
コンプライアンス・コスト・短納期などいずれも満足させつつ部分休業で糊口を凌いだ年。

次代へつなぐ転換点は、新型コロナ感染症という脅威によってもたらされた。

社内・客先含めオンライン会議や不要な外出自粛、各種集合行事の見直しと業務手順の見直しなど変化するキッカケとなった。効率的かつ当たり前と考えたことが通用しない変化を感じつつ、モノづくりの基本はブレずに取組み。

環境においては法規制や客先要請への対応と日常作業での化学物質低減や省エネ化を推進中。社会的要請と客先ニーズを踏まえ、また弊社の独自性・ポリシーを失わずに、事業継続していくことを、少量受注生産型の地域企業として「生き残る」ことを最大目的に、課題である後継傳承とニーズに合せた変化、働き方の変化に対応していくことで、管理項目もある意味転換点なのかもしれない。

次年度以降は、取組目標から刷新する。



〔二酸化炭素排出量の推移〕

稼働時間の繁閑差は引き続き激しく、且つ小ロット対応を旨としているため、短納期対応は多いが残業規制もあり達成。

目標 2.362 kg-CO<sub>2</sub>/H  
実績 1.186 kg-CO<sub>2</sub>/H

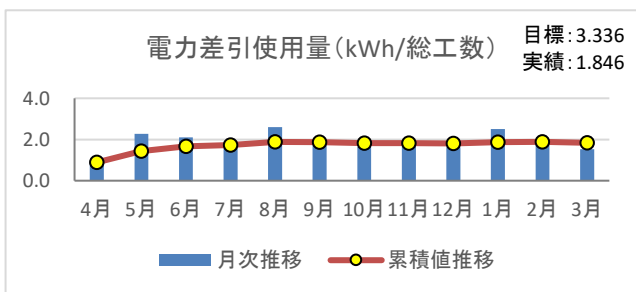


1) 電力の使用量 (発電相殺含まず)

前年に引き続き、節電を継続。

令和元年度 484,294 kWh

令和2年度 434,975 kWh



(発電相殺込)

\* 発電量(4月~3月) 52,608kwh

2) 都市ガスの使用量

既にガス空調を導入しており、節電と併せて省エネを進めている。空調起動時間の分散化やフィルター清掃の強化など日常できることの積上げを継続、GHP更新計画未実施  
実績: 35,738m<sup>3</sup> と前年に比べ、▲1,793m<sup>3</sup>低減となった。

3) コピー用紙使用量

令和元年度 0.871 kg/売上百万円

令和2年度 1.062 kg/売上百万円

設計案件は大きくは下ならず、取説や仕様関係で必要な書類などに紙は膨大に必要なため売上減少幅の方が大きくなった。(50%以上減)

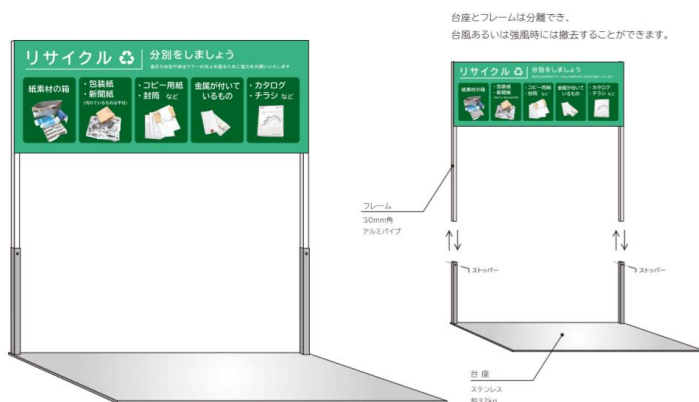
- \* 電気炉の工程を全廃。コロナ拡大をきっかけに社内行事(集合)も全般見直しで中止
- \* コストは上がるが切削油の代替選定トライ、老朽設備更新で省エネUP 継続中

# 環境管理活動 実施報告Ⅱ

## 4) 廃棄物のゼロエミ化推進

排出そのものを減じるために在庫・調達管理の徹底・不良削減等に取り組んでいる。  
引き続き受注量は増大ペースのままである。より一層の廃棄削減とゼロエミ推進と法令改正とを鑑み、  
砥石くずの排出先を調査継続中。休業も多いのだが、用紙は大幅減とはならなかった。

ゼロエミ率      99.60% (産廃)      60.1% (一般)      総ゼロエミ率    96.6%



琵琶湖の汚染防止	→	放流水の水質	○ 水質検査	合格	合格

## 5) 上下水道の水質

一級河川「盛越川」へ隣接しているため、水質の定期監視を自主的に継続している。  
年に1度測定を実施し、大津市基準24項目基準で異常なし

又、一級河川に隣接し、琵琶湖へ直結していることから特に新入者(新入社員や中途採用者等)を重点に油の保管場所や零したときの想定をして訓練をしています。



教養型火災訓練



油漏洩時訓練

## 環境管理活動 実施報告Ⅲ

### 7) 地域活動

隣接する盛越川の清掃を、6/16、6/26、10/20に実



### 8) セル活動

目の前にある・できることは、キッチリと改善実行しようと、長いスパンのQC活動から1ヶ月単位に改善スピードを上げて取り組んでいる。コロナにより一旦活動を中止し、5S活動を中心に課別に行動している。

### 9) 提案活動

各個人ごとに毎月提出するもので、それぞれができる改善をとおして効率UPやモチベーションUPなどにも通じ継続的に続けている。

計画  
実績

128.2 件/月  
181.8 件/月

内月平均10件が環境に直接よい影響を及ぼす改善提案

## 環境管理活動 実施報告Ⅳ

### \* ISO認証状況 \*

サーベイランス審査を受け、継続認証。

- \* 2020年10月 晴嵐小学校 生徒・先生 コロナ感染症拡大により  
...建屋外での見学のみ受諾。

--次年度の計画--

- \* 令和3年6月  
2015年度版 更新審査
- \* 内部監査員の更なる養成  
→若年層の2015版切替推進
- \* 砥石屑の処分先切替(ゼロエミ)
- \* 次代 事務局育成
- \* 設備更新継続(省エネにも)
- \* 業務フロー見直しによるムダ削減

